

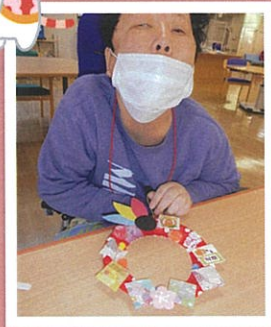
障がい者支援施設 あゆ夢

平成最後のお正月特集



① 「平成31年を迎える前に…」

12月27日(木)平成31年を目前にして「お正月飾り」を作成しました。紙皿を切り取った手作りリースに正月の必須アイテムの「つくばね」「だるま」「梅」「富士山」…縁起の良いパーツをデコレーションしていきました。来年も良い年になりますようにと願いを込めて作成した後は各自持ち帰って居室に飾りました。



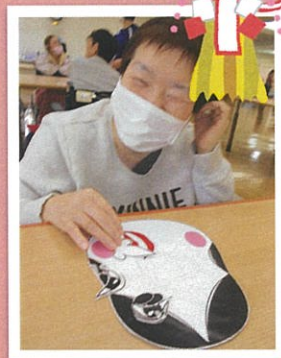
② 今年はどうな年になるのかな? 運試しの「おみくじ絵馬作り」

まずは絵馬に願い事を書きました。「健康第一」と祈願した人が多くいた中「美人になれますように」とか「お金持ちになりたい」など神様に無理なお願いをする人もいました。その後「ぴあとびあ神社」にて「おみくじ」をひきました。大凶から大吉まで誰がどのおみくじをひくのか大いに盛り上がりました。「大凶」～職員に怒られる(?)「凶」～我慢の時 がんばれ～「大吉」～なんだかしらないけど楽しい一日…など趣向をこらした職員のコメントに大爆笑の連続でした。「笑う門には福来る」今年も笑顔の絶えない楽しい日中活動になりそうです。絵馬とおみくじは展示中。施設にお越しの際はぜひご覧ください。



③ あゆ夢 新年会 「今年もがんばろう～!!」

日中活動初日は 新年会がありました。お正月恒例ゲームの「福笑い」「トランプ」「かるた」…を楽しみました。休憩時には和菓子をいただき…、お正月気分満喫でした!



「平成最後のクリスマス」「平成最後のお正月」「平成最後の〇〇」という言葉を耳にする度に、「平成」が終わるのだなと実感します。私は平成16年から福祉の分野で働かせていただいておりますが、その辺りから振り返っても、障がい福祉を取り巻く制度や環境については、色々と変化があったように感じます。

平成15年度に「措置制度」が「支援費制度」に移行し、「契約」に基づいて福祉サービスを選ぶことが出来るようになりました。地域格差はまだありますが、サービスの種類や量は増えています。また、「障害者虐待防止法」や「障害者差別解消法」の施行に伴い、一